

大学、研究機関及び大学発スタートアップで研究支援するみなさま

大学・大学発SU のための 企業連携提案 マニュアルのご案内

貴学の研究成果を社会に活かしましょう！

大学 × 企業





大学・大学発SUのための企業連携提案マニュアルとは？

大学等の研究支援者の皆様が、研究成果を企業と結びつけ、社会実装を促進するための実践的なガイドです。企業との連携において、従来の「研究シーズを売り込む」アプローチではなく、企業のニーズを深く理解し、共に新たな価値を生み出す視点を重視しています。

こんな方におすすめ！

- **URA***：研究戦略の策定や産学連携の推進を担う専門職員
- **産学連携コーディネーター**：企業との連携構築や研究者の支援を行う担当者
- **知的財産管理担当者**：特許活用やライセンス契約の交渉を担当する知財部門の職員
- **技術移転担当者（TLO 関係者）**：大学の研究シーズを企業へ移転し、事業化を推進する実務者
- **大学発スタートアップ支援担当者**：学内起業の支援や、スタートアップとの連携を促進する担当者

*University Research Administrator

4つの特徴

- 1** 国内外の特許情報を活用して企業のニーズを分析し、的確な連携先を特定
- 2** 企業視点での「価値創造ストーリー」を構築し、刺さる提案を準備
- 3** 初回面談用と2回目以降の面談用の各「連携提案資料」のひな形を付属し、実践的な提案作成をサポート
- 4** 生成 AI 活用のヒントを随所に掲載し、連携提案活動の効率化を支援



連携までの流れ

以下の2つのステップでスムーズに連携のプロセスを解説！

STEP 1 連携候補企業の探索・選定

研究支援者が、研究者とともに研究シーズが解決したい技術課題を言語化。

特許情報から研究シーズが解決する課題を起点に連携候補企業を探索。

特許情報・その他の公開情報を分析し、連携候補企業を選定。

STEP 2 連携候補企業への提案

初回面談の振り返りを実施し、2回目以降の面談（連携提案）に向けての情報整理。

企業連携による価値創造ストーリーを構築し、連携提案資料を作成。

連携提案のためのプレゼンテーションを実施し、企業と意見交換。



連携候補企業へのアプローチと初回面談



Q&A よくある質問

- Q** 海外企業への連携提案にも対応していますか？
特許情報を活用することで、グローバルに技術動向やニーズを把握でき、海外企業への連携提案にも活用できます。
- Q** 特許情報を使うと、企業の探索・選定がしやすいのはなぜですか？
特許情報は、企業の技術戦略や研究開発のニーズや課題を客観的に把握できる情報が満載だからです。
- Q** 付属の「連携提案資料」の特徴は何ですか？
初回面談用は初期仮説を提示して提案先の関心を形成し、2回目以降の面談用では、ビジネスモデルやロードマップなどを具体化し、合意形成が図れるように工夫されています。



入手先

以下の WEB サイトからダウンロードしてください。



お問合せ先

INPIT
(独立行政法人
工業所有権情報・研修館)
知財戦略部 イノベーション・
企画担当
ip-sr05@inpit.go.jp